

●熱中症対策

昨年に続き今年も猛暑による熱中症注意が必須です。

梅雨明け前から全国的に 35℃を超える猛暑で熱中症の危険性が高い状態が続くので、気温の予報や熱中症警戒アラート等に注意して、適切な熱中症予防行動を取っていきます。

- ①東京都・松戸市の最高気温が 35℃を超える日はチップパー作業を中止
- ②作業場所は木陰を選び、直射日光が当たらない 風通しが良い場所がよい
- ③作業人員は、投入口 2 名、部材の集荷等は 3～4 名を配置し、15 分でローテーション、30 分で休憩時間を 10 分程度、水分補給・体の温度を下げるなどを皆で行う。
- ④チップパー機も気温が高い時は 高温になり負荷がかかるため、給油と共に休みます。
- ⑤チップパー作業では、里やま団体メンバーとみ花基金の職員が協働で活動しています。熱中症の事故が起きないように配慮ください。

1) チップパーの管理

チップパーは (公財)松戸みどりと花の基金が来入した粉碎機で 金ヶ作育苗圃に保管してあり、里やま団体等からの依頼により貸出(運搬・作業指導)している。

里やま応援団事務局で各団体からの貸出し要請を受付、日程調整の上 日時を決定
雨天・荒天は中止・延期、処分材が濡れていると排出トラブルになるため中止・延期。
申請書と報告書は事務局の指示に従って提出ください。

2) 作業関係

育苗圃で軽トラにチップパーを積込み、2 名で現地に伺う(竹内さん・小高さん)

9 時頃の出発予定なので道路事情により到着時間が異なる。

団体のミーティングなどにより開始時間が遅れる場合は 事前に連絡ください。

森の入口内でチップパーを降し、自走式なので作業場まで移動、通路は 1.2mを確保、水平地に設置して、作業場はチップ排出を考慮して広めが望ましい。

粉碎チップは山積み排出 or ガーデンバッグ(2 バッグ持参)へ受けて搬出もできる。
処分材は チップパーに投入しやすいように集積しておく

投入しやすいようにリレー式 人海戦術で効率よく作業する。

投入口は騒音が大きいため防音マフ・耳栓・ゴーグルが必要。

投入者は 10～15 分くらいで 作業ローテーションで交代すること。

投入口で処分材をたくさん詰込み過ぎないよう作業、材の太い方から投入。

投入口が一番危険なところなので、手を入れ過ぎず 処分材が暴れないよう注意。

投入者は首から下げるバッグや飾りを身に付けないこと。

- *竹内さん・小高さんの注意指示に従って 安全作業を行うこと
緊急ボタンは 危険な場合に押すと止まるが 勝手に押さないように！
チップーの「傍や周り」では 別の作業を行わないこと

3) 粉碎できる処分材

竹の葉は濡れに注意、土に埋まっている材を掘り出す場合は 特に乾燥に配慮すること。

湿った古い材を投入すると故障の原因になる

剪定枝は直径 12 cmまで粉碎可能、異形の材は投入注意

建築木材のクギ等が付いている材木はNG

太いモウソウチクは割って投入、長尺の竹葉付き、マダケ・ハチクは長尺でもよい

*草は投入しない、特にツル草は刃に絡まり 故障の原因になる。

竹の枝葉とつる草を一緒に投入は禁止。

4) その他注意事項

- ①作業員の労力・機械の過熱を考慮して 30～40 分で小休憩をとり、安全配慮のこと。
 - ②作業時間は 9 時 30 分～12 時としており、中間点で燃料補給を行う。
 - ③み花基金と育苗圃で行事：花苗配付期間・4 月末の緑と花のフェスティバル準備期間などがある場合、7 月後半から 8 月末までの猛暑期間はチップー予定を外します。
月間 2～3 回の実施予定
 - ④燃料代（ガソリン）は 原則として使用団体負担としている。
 - ⑤近隣に対して 騒音とチップー粉の飛散など 事前通知を行うとよい。
 - ⑥風の強い時のチップー粉の飛散防止対策を検討する。
- 粉碎音が大きく、特にモウソウチクは負荷が大きく、太いものは割りを入れるとよい
- 作業上 コンパネ 3×6 板と設置台＝ビールコンテナ 2 箱分の高さを用意下さい。